

《企業紹介》

ホーチミン市を拠点とする著名なベトナム人実業家グエン・チャン氏が仲間と共に、銀行参入自由化直後の 1992 年に設立した、アジア商業銀行などと並ぶ民間資本としては最も古い商業銀行のひとつである。保守的な融資姿勢が特徴であり、家族経営でありながら、マクロ経済が混乱に陥っても経営危機に瀕するようなことは一度もなかった。2023 年にホーチミン市場に株式を公開した。

技術や業務改革には積極的に取り組む姿勢は創業者達の起業家精神を受け継いでおり、2019 年にベトナム初の人工知能搭載ロボット行員導入を行ったほか、デジタルネイティブ世代をターゲットにしたバーチャルバンキングを積極的に進め、経済成長によって拡大しているベトナムの中産階級や中堅企業をターゲットにした業績拡大戦略を採っている。

《2025 年 7-9 月期業績》

2025 年 7-9 月期の営業収入は前年同期比 15.3%増の 2.5 兆 VND（ベトナムドン）だった。手数料等収入が前年同期の落ち込みの反動によって同 44.9%増の 1,737 億 VND、その他収入が同 183.8%増の 3,650 億 VND と大きく伸びたことがけん引役だった。一方、金利収入は同 2.7%増の 2.0 兆 VND にとどまった。貸出債権残高は同 21.0%増の 195.5 兆 VND となったが、預貸利ザヤの悪化が響いた。預貸利ザヤの悪化は 4-6 月期に続いて調達コストの上昇によるものとみられる。営業費用は同 2.2%増の 9,482 億 VND に抑制されたが、貸倒関連費用が同 66.0%増の 3,563 億 VND に増加したため、税前利益は同 16.7%増の 1.2 兆 VND となった。純利益は同 18.5%増の 1.0 兆 VND だった。同社は 2025 年 12 月期の税前利益を同 10.0%増の 5.0 兆 VND と計画している。2025 年 1-9 月累計の税前利益実績は 3.8 兆 VND であり、計画に対する進捗率は 76%に達している。計画の進捗は順調とみることができるだろう。

同社の 2025 年 9 月末の総資産は同 138.2 兆 VND 増の 377.0 兆 VND に急増した。これは銀行間取引残高の急増が要因とみられる。資産サイドでは他の金融機関への貸出が同 72.6 兆増、負債サイドでは他の金融機関からの借入が同 66.4 兆 VND となっており、総資産増加額の 5 割近くを占めている。

図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期		2025年4-6月期		2025年7-9月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	2,248.8	63.4	2,552.1	-7.3	2,276.3	15.5	2,695.6	16.4	2,593.5	15.3
(うち金利収入)	2,000.3	52.6	2,011.6	-10.4	2,112.2	23.0	2,122.1	-3.9	2,054.8	2.7
(うち手数料等収入)	119.9	18.4	174.8	48.9	123.1	-41.0	135.4	44.6	173.7	44.9
(その他収入)	128.6	-	365.7	-6.6	41.1	-9.3	438.1	3,088.3	365.0	183.8
営業費用	927.8	-4.5	1,338.5	36.3	815.7	-5.4	802.1	-6.4	948.2	2.2
貸倒関連費用	214.6	-	-44.7	-	240.1	120.7	614.4	153.6	356.3	66.0
税前利益	1,106.4	111.9	1,222.4	-2.8	1,224.6	22.5	1,295.6	6.5	1,291.2	16.7
純利益	870.4	109.5	966.8	-2.3	976.1	22.3	1,034.7	6.5	1,031.4	18.5
貸出債権残高	161,666.6	23.5	165,672.9	18.4	175,538.7	21.0	190,329.5	23.1	195,579.9	21.0
貸倒比率(年換算、%)	0.5	-	-0.1	-	0.5	-	1.3	-	0.7	-

注 収入は全て対応費用を差し引いた純額 注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4(年換算)で計算(%)

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より 180 日

News20251104

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ナムアバンク(NAB)

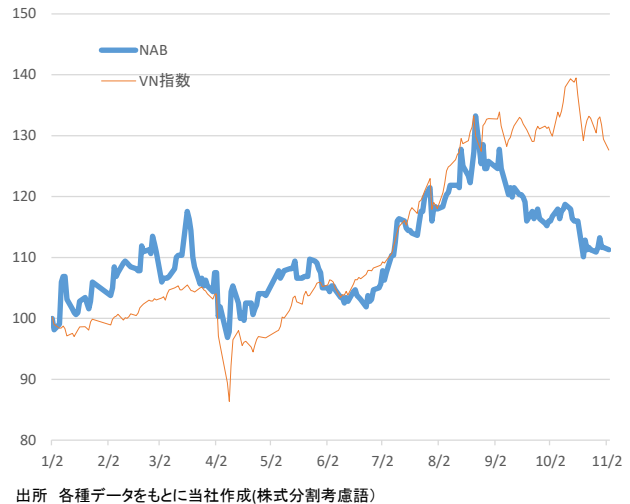


《株価の動向》

同社の株価と VN 指数を、2023 年末終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価パフォーマンスは 2025 年の年初から概ね VN 指数と同等のパフォーマンスとなっていたが、9 月初旬からは明確なアンダーパフォームに転じている。2024 年末に対する 11 月 3 日終値時点の上昇率は VN 指数の 28% に対して同社は 11% となっている。11 月 3 日終値 14,200VND ベースの時価総額は 19.4 兆 VND であり、それは 2024 年 12 月期実績の純利益 3.6 兆 VND に対して 5.4 倍の水準となっている。

営業費用の圧縮で純利益は増加傾向を維持し、会社計画の進捗も順調だが、資金調達コストの上昇によって中核事業である金利収入の伸び悩みが続いていることが株価パフォーマンスにマイナスの影響をもたらしている可能性がある。同社は慎重な経営姿勢が評価されている面があるだけに、総資産の増加についても、利益率はやや低い、より安全性の高い銀行間取引に注力しているとみなされ、同業他社に比べて利益成長率が劣後するとみられているのかもしれない。株価パフォーマンスの改善には、金利収入の安定した増加と収益性改善が必要だろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20251104

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。